

かつらのテンプレートの作り方

1 食品用のラップを 30 センチ角に切り、頭に載せます。両側の端をセロハンテープで耳の下に留めます。続いて、額にも同じようにセロハンテープで固定します。

【注意】このパンフレットの写真は、わかりやすくするために着色してあります。水色のラップと、着色テープは、実際には透明です。



2 セロハンテープを横方向へ貼っていきます。隙間ができないように貼ってください。重なってもかまいません。



3 横方向へ貼り終わりました。



4 次は縦方向へ貼ります。



5 縦方向も貼り終わりました。

さらに横方向と縦方向へ各1回ずつ重ね貼りします。

つまり、ラップの上に縦2層、横2層、合わせて4層のテープが貼られることとなります。隙間ができてしまったり、4層になっていない場所があれば、後で頭から外したあとテープを重ね貼りしてください。



6 鏡を見ながら、かつらの輪郭を油性ペンで書きます。

【フロント】

眉毛の上端に小指の下をあて、人差し指の上がかつらの生え際位置です。つまり、額は指4本～4.5本分が適正な広さです。

【横と後ろ】

かつらでカバーしたい部分に線を引いていきます。わかりにくい場合は、いったん頭から外して自毛の状態を確認します。



ご利用中のかつらがあれば、頭から外してその大きさを写し取ると簡単です。

7 これで、かつらの輪郭を書き終わりました。



8 頭から外し、左右対称になるようペンジンまたはリムーバーを使って線の修正をします。縦に2つ折りしてみると、左右対称かどうか確認できます。非対称でも作れますが、正しい位置に装着することが難しくなるので、お勧めしません。



9 線のところでハサミで切ります。つまり、**かつらの実物大の形**ができるわけです。

切り終わったら、頭に載せてみて、間違いがないか確認します。自毛の薄いところが完全にカバーされているかどうか、洗面台の鏡と、手持ちの鏡の2枚の鏡を使って後頭部を見てください。また、各部を指で押して浮いていないか確かめてください。



10 前に「F」、後ろに「B」と書き込みます。

さらに、注文者の名前をローマ字で名・姓の順に書きます。
(例：山田太郎 Taro Yamada)
名前が消えるのを防ぐため、名前を書いた上に更に透明テープを貼ってください。
線はペンジンまたはリムーバーで消してください。線が残っていると、工場側が、かつら の輪郭と誤認する恐れがあります。



-----以上で完成です-----

11 以下は、必要な場合だけ行ってください。

つむじ位置を指定したい場合「」を書きます。後端から最低でも4cmは離すようにしてください。
分け目をつける場合、つむじ位置からフロントへ延びる線を記載します。縁にかからないようサイドとの間隔は広めにするをお勧めします。



完成したテンプレート



実際はこのように透明になります